

まとめ・創造・表現では、国語科『おもちゃ教室』をひらこう」の学習と関連して、おもちゃのつくり方や遊び方を聞く人が分かりやすいように順序良く工夫して説明する方法を学び、1年生への説明に生かしていく。また、他のクラスの児童と保護者に1年生役になってもらい、説明の仕方や、ルールなど1年生が楽しく遊ぶことが出来るかどうか改良点を見つけてアドバイスカードに記入してもらおう。アドバイスを基に、分かりやすい説明の仕方について話し合う場を設け、相手意識をもって自分の考えを伝える力を身に付けさせていく。

振り返りでは、つくったおもちゃを使って開く「おもちゃフェスティバル」を通して、自分の成長や友達の良いさに気付かせたい。友達との関わり合いを通して、約束やルールが大切なことや、それを守って遊ぶと楽しかったことなどを振り返らせる。日々の生活で友達との関わり合いにおいてどのように生かすことが出来るか考えさせたい。

単元の目標

- 身近な材料を使って、動くおもちゃをつくることに興味をもち、遊びを工夫して、みんなで楽しく遊ぼうとしている。 【生活への関心・意欲・態度】
- 身近にある材料を使って、工夫して動くおもちゃをつくとともに、みんなで楽しく遊べるように、遊びや約束を考え、表現することができる。 【活動や体験についての思考・表現】
- おもちゃや遊びを工夫する面白さや、おもちゃの動きの面白さや不思議さ、工夫してみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。 【身近な環境や自分についての気付き】

単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
身近な物を利用してつくった動くおもちゃやその遊びに関心をもち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	身近な物を利用して、動くおもちゃをつくったり、その遊びに使う物を自分なりに工夫したりして、「おもちゃフェスティバル」で使う物をつくって遊んでいる。遊び方や約束を考え、遊びをつくり出し、相手に分かりやすく、工夫して説明している。	動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる面白さ、自分の成長、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。遊び方や約束を考え、遊びをつくり出し、言葉で説明している。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・身近な物を利用してつくった動くおもちゃやその遊びに関心をもち、積極的にみんなで楽しく遊ぼうとしている。	・身近な物を利用してつくった動くおもちゃやその遊びに関心をもち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。
【思考力】	・身近な物を利用して動くおもちゃをよりよく動くように考えたり、その遊びに使う物を自分なりに工夫したりしてつくって遊んでいる。 ・遊び方や約束を考え、遊びをつくり出し、それを言葉を使って、相手に分かりやすく工夫して説明している。	・身近な物を利用して動くおもちゃを考えたり、その遊びに使う物を自分なりに工夫したりして、つくって遊んでいる。 ・遊び方や約束を考え、遊びをつくり出し、それを言葉で説明している。
【自己理解】	・動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる面白さ、自分の成長、みんなで遊ぶ楽しさに気付き、今後の生活に生かそうとしている。	・動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる面白さ、自分の成長、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。

指導と評価の計画

全 14 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定①（１） ○学習の見通しをもつ。 ・身近な物を使っておもちゃをつくり、約束やルールを考え、「おもちゃフェスティバル」を開くという学習の見通しをもつ。 ・昨年招待された「おもちゃフェスティバル」の様子を、昨年の写真などを見ながら思い出し、おもちゃづくりに対する意欲を高める。 ・動くおもちゃづくりに関心を持ち、自分のつくりたいおもちゃを決める。	○			・身近な物を利用した遊びや動くおもちゃづくりに関心をもっている。	行動観察 発言
	2	情報の収集①（１） ○おもちゃが載っている本を選ぶ。 ・あらかじめ教師が選んだおもちゃの中から、自分がつくりたい動くおもちゃを選ぶ。 ○おもちゃづくりに必要な身近な材料を集める。 ・必要な材料、つくり方の工夫などについて考える。	○			・1年生に楽しんでもらうための動くおもちゃを選んでいく。	設計図 行動観察
二	3 ・ 4	まとめ・創造・表現① 課題の設定②（２） ○動くおもちゃをつくり、遊ぶ。（2時間） ・設計図をもとに、動くおもちゃをつくる。 ・つくったおもちゃで遊んだり、友達のつくったおもちゃと競争したりして、1年生に楽しく遊んでもらうために、「もっと○○したい。」と必要性を感じる。	○			・友達のおもちゃと比べたり、試したりしながら動くおもちゃを工夫してつくっている。	発言 行動観察 おもちゃ
	5	整理・分析 情報の収集②（１） ○おもちゃの遊び方を考える。 ・自分たちの作ったおもちゃで、試したり友達と意見を交流したりしながら、1年生が楽しめる遊び方を考える。			○	・自分たちの作ったおもちゃで、試したり友達と意見を交流したりしながら、1年生が楽しめる遊び方を考えていく。	発言 行動観察 ワークシート
	6 ・ 7	○作ったおもちゃで遊ぶ。 ・1年生役とお店屋さん役に分かれてお互いのおもちゃで楽しんで遊ぶ。	○			1年生役とお店屋さん役に分かれてお互いのおもちゃで楽しんで遊んでいる。	発言 行動観察
		国語科 ○『おもちゃ教室』をひらこう」の学習で、おもちゃのつくり方や遊び方を聞く人が分かりやすいように順序良く工夫して説明する方法を学ぶ。					

三	8	まとめ・創造・表現③（8） ○「おもちゃフェスティバル」の計画を立てる。 ・みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。	○		・「おもちゃフェスティバル」でみんなが楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することを話している。	発言 行動観察
	9	○3年生に、アドバイスをもらう。 ・見つけた課題をもとに、1年生が楽しめるような遊び方のアドバイスをもらう。		○	・見つけた課題をもとに、1年生が楽しめるような遊び方のアドバイスをもらっている。	ワークシート 行動観察
	10	○1年生が遊びを楽しめるための作戦を考える。 ・「おもちゃフェスティバル」で、1年生が楽しく遊ぶことができるような遊び方を考える。 【本時①/2時】		○	・「おもちゃフェスティバル」で、1年生が楽しく遊ぶことができるような遊び方を考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	11	○自分たちが考えた作戦を試して、お互いに見合う。 ・自分たちが考えた作戦を試したり、他のグループの作戦を見たりする。		○	・自分たちが考えた作戦を試したり、他のグループの作戦を見たりする。	発言 行動観察
	12 ・ 13	○1年生を「おもちゃフェスティバル」に招待して遊ぶ。（2時間） ・1年生に遊び方やルールを教えながら、楽しく遊ぶ。	○		・遊び方やルールを教えながら、1年生と楽しく遊んでいる。	発言 行動観察
四	振り返り（1） 学びのモニタリング ○おもちゃフェスティバルを通して気付いたことを振り返る。 ・自分の成長や友達のよさに気づき、今後の生活の中で、生かすことを考える。		○	・動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる面白さ、自分の成長、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。	発言 行動観察 ワークシート	

本時の学習

(1) 本時の目標

- 「おもちゃフェスティバル」で、1年生が楽しく遊ぶことができるような遊び方を考える。

【思考・表現】

(2) 本時の評価規準

- 「おもちゃフェスティバル」で1年生が楽しく遊ぶことができるような遊び方を考えている。

【発言・行動観察】

(3) 本時の学習展開 (10 時間目 / 全 14 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて	◇前時の学習を振り返り、作戦を考えることを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 1年生が遊びを楽しめるための作戦を考えよう。 </div> <div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 本時のゴールの見通し </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A：友達と意見交流をしながら1年生が楽しめる遊び方を考えるとともに、友達の意見を聞いてさらに工夫している。</p> <p>B：友達と意見交流をしながら1年生が楽しめる遊び方を考えている。</p> </div>		
2 3年生にももらった遊び方のアドバイスを班で出し合い、グループで取り入れたい作戦を1つ選ぶ。 ○3年生にももらったどの作戦を取り入れますか。 ・コロコロレースの角度をもう少し急にした方がいいと思う。 ・射的の線を前の線からやってみたほうがいいと思う。 3 班で取り入れた作戦を全体で発表する。 ○グループでどの作戦を選びましたか。理由をつけて発表しましょう。 ・射的の線を前からやってみることにしました。わけは、1年生が投げる時に的に当たりにくいと思ったからです。	◇なぜ、その作戦を選んだのか理由セットで考えるよう伝える。 ◇なぜ、その作戦を選んだのか理由セットで発表するよう伝える。 ◇他のグループの考えを、自分たちのグループにも活かすことができる所はないか比べながら聞くよう伝える。	◎「おもちゃフェスティバル」で1年生が楽しく遊ぶことができるような遊び方を考えることができる。(行動観察・ワークシート)【思考・表現】
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> □思考の場の工夫 関連付ける 3年生のアドバイスと自分の経験を関連付けて、より良いおもちゃフェスティバルになるように考える。 </div>		

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>4 作戦を試す。</p> <p>○取り入れた作戦をグループでやってみたり話し合ったりしましょう。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇一班が全員の前で試してみて、より1年生が楽しめる遊び方になっているか確かめる。</p>	
<p>★めざす児童の姿</p> <p>○ぼくたちのグループは、射的の投げる線を前にしました。前にすると、的に当たりやすくなったのもっと1年生が楽しめると思います。</p> <p>○天国と地獄では、穴の大きさを大きくするようにしました。</p> <p>○釣りでは、紐の長さが長すぎてからまってしまうので、紐の長さを短くしました。</p> <p>○コロコロレースでは、角度を急にしておもりの勢いがつくようにしました。</p> <p>○動物オリンピックでは、4人で競うことが出来るようにコースを1つ増やすことにしました。</p> <p>○ボウリングでは、球の重さを重くして、ピンが倒れやすくなるようにしました。</p>		

(4) 板書計画

め

1年生が遊びを楽しめるための作戦を考えよう。

自分たちがえらんだ作せん

・なげる線を前にする。

・ひもの長さをみじかくする。

・あなの大きさを大きくする。

・角どをきゆうにする。

・コースを1つふやす。

・たまの重さを重くする。

ふ

ぼくたちのグループは、射的の投げる線を前にしました。前にすると、的に当たりやすくなったのもっと1年生が楽しめると思います。

うごく うごく わたしのおもちゃ ～おもちゃフェスティバルをひらこう～

2年（ ）組（ ）ばん 名前（ ）

1. みちかなものをつかってつくったおもちゃでの遊びを考えて、
楽しくあそぶことができた。



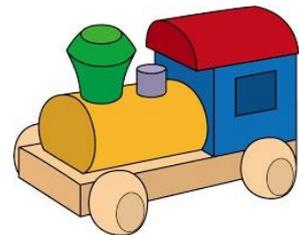
2. おもちゃをつかってあそぶときに、そのあそびにひつようなものを
考えて、あそぶことができた。



3. あそびかたややくそくを考えて、1年生にわかりやすく教えることができた。



4. みんなで楽しくあそぶことができた。



これからの生活でいかしていきたいことを書こう！